

三浦 環（みうら たまき）

日本で初めてのオペラ歌手。

1884年、東京で生まれ、幼い頃から音楽を志す。

1900年、東京音楽学校に入学をし、1903年に日本人の手による初めてのオペラ公演に出演し、成功を収める。

その後は、欧米各国にて、公演を行い代表作「蝶々夫人」に出演 2,000 回を機に、日本へ帰国。日本国内でオペラやリサイタルを重ねた。（1946年 死去）

当物件は三浦環の母「永田登波」の生家となります。